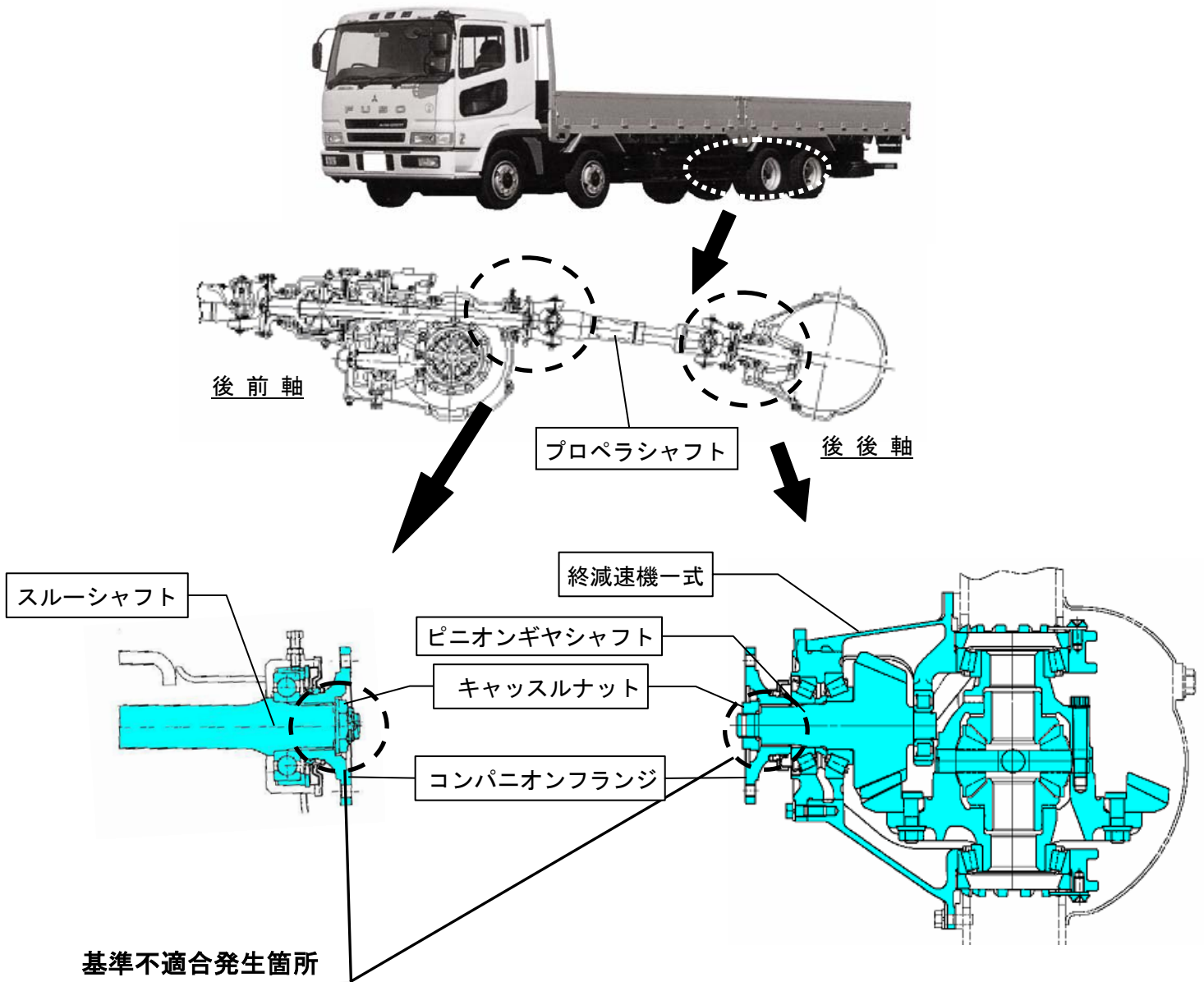


改善箇所説明図



低床式後2軸駆動車の後前軸と後後軸間のプロペラシャフトを接続するコンパニオンフランジにおいて、ピニオンギヤシャフトおよびスルーシャフトのねじ部の強度および締付トルクが不適切なため、キャスルナットがゆるみ、またはピニオンギヤシャフトおよびスルーシャフトのねじ部が折損し、最悪の場合、後前軸と後後軸間のプロペラシャフトが脱落して走行不能となるおそれがある。

(改善措置の内容)
 全車両、後後軸の終減速機一式、および後前軸のコンパニオンフランジ一式を対策品に交換する。また、対策品の装着によりプロペラシャフト取付け距離に余裕度が少なくなる一部の車両については、プロペラシャフトを短いものに交換する。
 なお、対策品の供給に時間を要するため、当面の暫定措置として、コンパニオンフランジの取付状態を点検し、異常のあるものは新品と交換し、後日対策品と交換する。

注 : は交換部品を示す。

識別 : 作業完了車には、助手席リヤドアピラー스트ライカー付近に「HD96」の文字が記載されたシールを貼付ける。 暫定 : 青色、恒久 : 白黄色